

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[57]歳、勤続年数[33]年、現場経験年数[33]年、階級[消防司令]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	AとB	その他の火災に出動する	
経過2	A	現場到着後、放水の為ポンプ操作をする	
経過3	B	消火の為ホース延長し、筒先部署する	
経過4	B	放水始めの指示を送る	
経過5	A	放水口を開けたつもりで圧力を上げる	
経過6	B	水が出ないため再度放水始めの指示を送る	
経過7	A	放水口を閉じたまま圧力を上げる	
経過8	A	放水口を閉じているのに気づき放水口を開く	
経過9	B	圧力が高いため体勢を崩し転倒しそうになる	
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

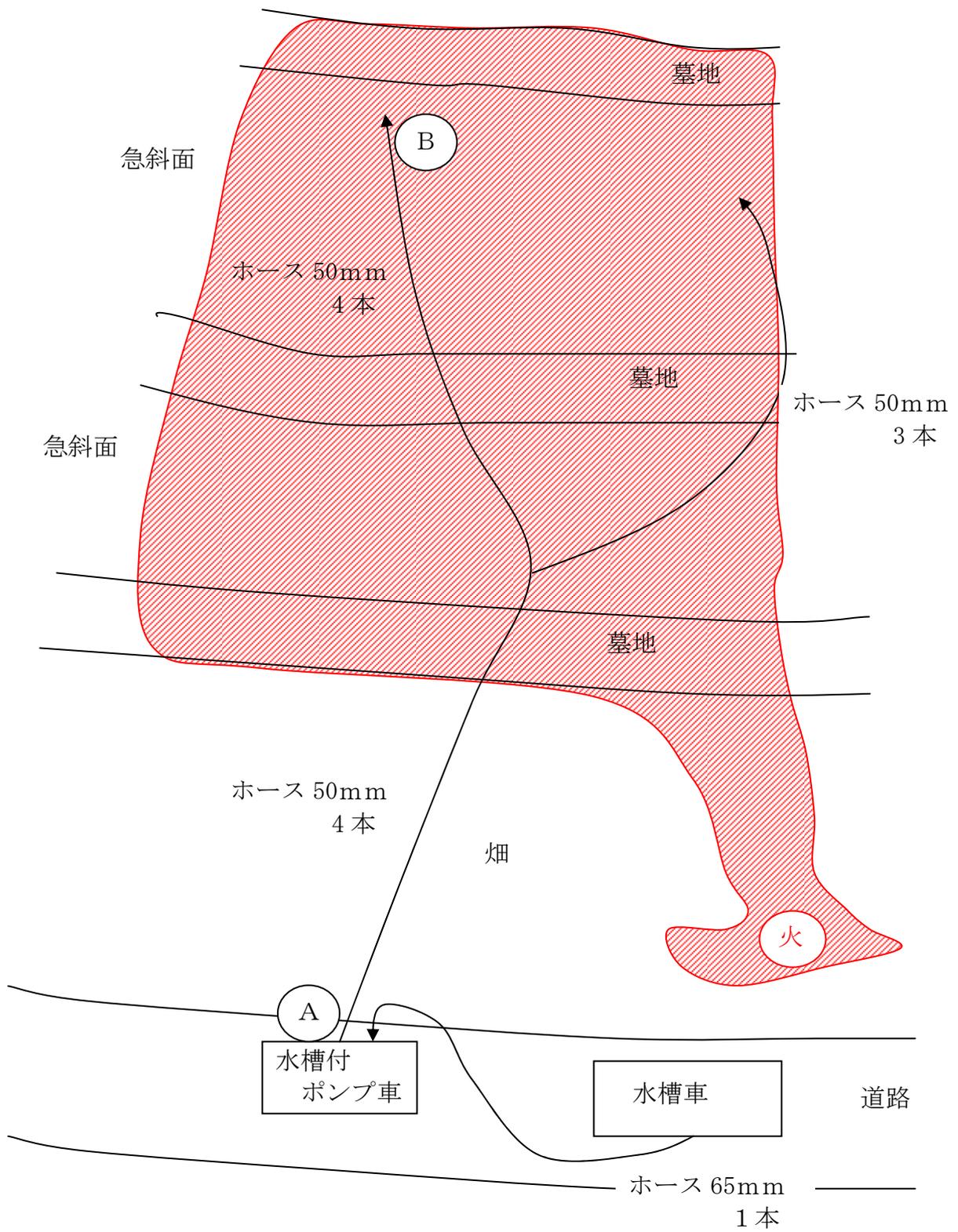
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

ヒヤリハット図面



・発生日時：平成20年2月21日 午後1時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		機関員／消防士 ・年齢 25歳 ・勤続 6年 ・現場 6年 ・同様の活動：初めて	車長／消防司令 ・年齢 57歳 ・勤続 33年 ・現場 33年 ・同様の活動：1年に数度	
出動指令	火災の出動指令			火災への消防出動
出動途上				
現場到着		現場到着		
活動初期	傾斜地にある墓地	放水の為ポンプ操作をする	消火の為ホース延長し、筒先部署する	
			放水始めの指示を送る	
	放水口は閉じたままで、水は出ない	放水口を開けたつもりで圧力を上げる		
			水が出ないため再度放水始めの指示を送る	
活動中期	送水圧力が高圧に(1.5Mpa)	放水口を閉じたまま圧力を上げる		
		放水口を閉じているのに気づき慌てて放水口を開く		機関員として経歴が浅く、緊迫する現場で落ち着いた行動が取れなかった
			放水の圧力が高いため体勢を崩し転倒しそうになる	

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：行動の実行に問題があった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 - ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。